

授業科目名	対象学科・専攻	年次	期別
体育科指導法 Teaching Methods of Physical Education	児童教育学科 初等教育学専攻	2年次	前期 後期
科目	施行規則に定める科目区分又は事項等		
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員名
			手島 史子
演習	2	必修	担当形態
			単独
全体目標及び概要			
今日の社会及び将来の社会において求められている「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する」ために必要な資質・能力を、学習指導要領に示された体育教科の学習内容を中心に理解する。また、それを子どもたちが身につけるための学習指導理論を実践的に学修し、実践できる基礎的な資質・能力を理解する。			
一般目標及び到達目標			
一般目標	学習指導要領に示された体育教科の目標や内容を、根拠を持って理解し、その内容を持つ本質を子どもたちがつかみ取れるよう授業計画を立てることができる。		
到達目標	<p>(1) 学習指導要領における体育教科の目標・内容等を今日及び将来の社会的状況を踏まえて理解している。</p> <p>1) 今日及び将来の社会とスポーツの価値について理解している。</p> <p>2) 学習指導要領の目標について理解している。</p> <p>3) 学習指導要領の内容について理解している。</p> <p>(2) 体育教科の学習内容における指導上の留意点及び学習評価の在り方を理解している。</p> <p>1) 各学習内容の指導上の留意点を理解している。</p> <p>2) 体育教科の評価の在り方について理解している。</p> <p>(3) 「生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現」のために必要な資質・能力について理解している。</p> <p>1) スポーツそれ自体の面白さに基づいた取り組みの必要性を理解している。</p> <p>2) スポーツを行うための必要条件について理解している。</p> <p>3) 器械運動のマット運動それ自体の面白さに基づいた授業計画作成の在り方について理解している。</p> <p>4) 陸上運動の短距離走それ自体の面白さに基づいた授業計画作成の在り方について理解している。</p> <p>(4) 「目的・目標—内容—教材—方法—評価の統一」を意識した授業計画案をつくることができる。</p> <p>1) 「目的・目標—内容—教材—方法—評価の統一」の意味を理解している。</p> <p>2) 自分で作成した授業計画を1)に基づき検討することができる。</p>		

授業内容と進め方【前期】		
回数	授業内容	到達目標の番号
1	学習指導要領「体育教科」の読み方	(1) - 2)・3)
2	学習指導要領「体育教科」の目標と現代社会について	(1) - 1)・2)
3	学習指導要領「体育教科」の学年別にみる内容について	(1) - 3)
4	学習指導要領「体育教科」の内容と指導上の留意点	(1) - 3) (2) - 1)
5	「豊かなスポーツライフ」をキーワードに「体育教科の目標・内容」について意見交換する	(1) - 1)・2)・3) (3) - 1)
6	自分達が受けてきた「体育教科」を振り返る(意見交換及び報告)	(1) - 1)・2)・3)
7	体育教科の授業計画をつくるときの基礎知識	(3) - 1) (4) - 1)
8	スポーツそれ自体の面白さとスポーツを行う必要条件について	(3) - 1)・2)
9	現代社会におけるスポーツの価値について	(1) - 1)
10	スポーツそれ自体の面白さを器械運動のマット運動で考える	(3) - 1)・3)
11	授業計画作成上の基礎知識(器械運動のマット運動を例にして)	(3) - 1)・3) (2) - 1) (4) - 1)
12	器械運動のマット運動それ自体の面白さとは何か検討する(意見交換及び報告)	(3) - 1)・3) (2) - 1)
13	器械運動のマット運動それ自体の面白さをベースにした授業づくり(グループでの活動)	(3) - 1)・3) (2) - 1) (4) - 1)
14	器械運動のマット運動それ自体の面白さをベースにした授業づくり(報告)	(3) - 1)・3) (4) - 1)
15	器械運動のマット運動それ自体の面白さをベースにした授業の報告に基づく検討	(3) - 1)・3) (4) - 1)・2)
成績評価方法	授業時の発表(関心・意欲・態度・理解)20%、レポート(思考力・判断力)30%、授業計画案(思考力・判断力・構成力)50%	
テキストおよび参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領「体育編」 ・授業中に適時資料を配付する 	
メッセージなど	<p>○卒業必修 ○小学校・幼稚園教諭二種免許状必修科目</p> <p>○授業を受けながら、「自分の頭で考える」ということが「当たり前のようにできる」ことを意識し進める。また、できるだけ、児童と接する機会を自分で意図的に持ち、子どもというものはどういふものか実感を深めていくように努力すること。</p>	

授業内容と進め方【後期】		
回数	授業内容	到達目標の番号
1	「豊かなスポーツライフの実現」を視点とした小学校での体育教科の授業の検討（意見交換）	(1) - 1)・2)・3)
2	スポーツを行うための必要条件について	(3) - 2)
3	体育教科の評価と授業の在り方	(2) - 2)
4	評価の視点から見る体育教科の授業づくり	(2) - 2) (4) - 1)
5	学習指導要領体育教科における陸上運動の短距離走の目標及び内容について	(1) - 2)・3)
6	陸上競技の短距離走それ自体の面白さを考える	(3) - 1)・4)
7	陸上競技の短距離走を科学的に考察する	(1) - 2)・3)
8	陸上競技の短距離走それ自体の面白さに基づいた授業計画をつくる	(3) - 1) (3) - 4)
9	グループに分かれ短距離走における「速く走る」を意識した内容及び方法を検討する	(1) - 3) (3) - 4)
10	9回目の授業で検討した内容・方法を、グループで実際に確かめ修正する	(1) - 3) (3) - 4) (4) - 2)
11	10回目の授業で修正した内容・方法を報告し意見交換する (グループ1と2)	(1) - 3) (3) - 4) (4) - 2)
12	10回目の授業で修正した内容・方法を報告し意見交換する (グループ3と4)	(1) - 3) (3) - 4) (4) - 2)
13	意見交換で得た知見を元にグループで報告した内容・方法を修正する	(1) - 3) (3) - 4) (4) - 2)
14	授業計画作成における「目的・目標－内容－教材－方法－評価の統一」という視点の重要性について考える	(1) - 2)・3) (2) - 1)・2) (4) - 1)
15	「生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現」のために必要な資質・能力について	(1) - 1)・2)・3) (3) - 1)・2)
成績評価方法	授業時の発表（関心・意欲・態度・理解）20%、レポート（思考力・判断力）30%、授業計画案（思考力・判断力・構成力）50%	
テキストおよび参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領「体育編」 ・授業中に適時資料を配付する 	
メッセージ	<p>○卒業必修 ○小学校・幼稚園教諭二種免許状：必修科目</p> <p>○授業を受けながら、「自分の頭で考える」ということが「当たり前のようにできる」ことを意識し進める。また、できるだけ、児童と接する機会を自分で意図的に持ち、子どもというものはどういふものか実感を深めていくように努力すること。</p>	

